

浜松市議会議員

田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053 - 447 - 3820  
夜 053 - 440 - 7100

平成 22 年 2 月 1 日

創ろう！元気な浜松

こどもにツケをまわさない！

公会計研究所・日本税制改革協議会(JTR)の手法による やすとも市長の成績表

私は、これまでの活動の中で、行政の会計方式（公会計）の改革に力をいれてきました。

企業会計の手法を用い、決算審査などでも、施策のチェックや行政のムダの削減に取り組んできましたが、もっとわかりやすい使い方はないか…とっています。

そんな中、1月に「公会計改革を首長の評価に使おう」という研修会に参加してきました。

JTRは「子どもにツケをまわさない」ために、官僚や行政主導でなく、市民主導で小さな政府をめざす草の根組織です。

鈴木康友市長は、3年前のマニフェストの中で「子どもにツケはまわしません」と書いてありましたが、JTRのHPを見るとJTRの主張に賛同する旨の「納税者保護誓約書」に署名していました。

公会計研究所の吉田寛氏（千葉商科大学大学院教授）は、「会計は評価ツールだ」と言います。たしかに、民間企業の決算報告は、数字で企業経営者の評価ができます。一方、従来の行政の決算は数字を並べるだけで、お金の出し入れの実績に過ぎません。

最近、公会計改革が進み、総務省方式とか総務省改訂方式、東京都方式など、さまざまな手法が開発され、まかりなりにもB/S（バランスシート）やP/L（損益計算書…行政では「行政コスト計算書」と言います）を作成するようになりました。

退職引当金や減価償却コストの把握など、これまでコスト認識されていなかった“隠れ債務”が明らかになるなど、一定の成果はありましたが、まだ数字の持つ意味や評価の仕方の検証は進んでいません。

吉田教授は首長の在任期間の評価に使うことや「成果報告書」の作成を提唱しています。今回、研修で学んだ公会計研究所の方式（“吉田流”）による「やすとも市長の成績表」を作ってみました。（次ページへ）



## (1) 市長のバランスシートをつくる

“吉田流”の公会計指標には「市民のバランスシート」「市長のバランスシート」があります。これは、市の「連結バランスシート」に計上された「固定資産」等を「公共財＝市民の財産」と位置づけ、「市民のバランスシート」に分けて記載するものです。公共資産は「市のもの」ではなく「市民のもの」という考え方です。すなわち市のバランスシートは、とに分けられるということです。

浜松市の連結バランスシート(H21.3.31)

資産合計 2兆1156億円	負債及び純資産合計 2兆1156億円
<b>【公共資産】</b> 2兆0116億円  市民が税金を払って 得た財産＝公共財 (有形固定資産・無形固定資産・売却可能資産)	<b>【負債】</b> 6495億円  将来世代の負担 となる債務 (固定負債・流動負債)
<b>【債務返済の財源】</b> 1040億円  (投資等・流動資産・繰延勘定)	<b>【純資産】</b> 1兆4661億円  これまでの世代の負担 (一般財源・補助金等)

市民のバランスシート

市民のバランスシート	
<b>【公共資産】</b> 2兆0116億円  市民が税金を払って 得た財産＝公共財	<b>【将来の税金】</b> 5455億円 (こどもへのツケ)
	<b>【純資産】</b> 1兆4661億円 これまでの世代の負担

市長のバランスシート

市長のバランスシート	
<b>【債務返済の財源】</b> 1040億円	<b>【負債】</b> 6495億円  将来世代の負担 となる債務
<b>将来の税金</b> 5455億円 (こどもへのツケ)	



### 紙上視察報告「かごしま環境未来館」

1月19～21日、市民クラブで、福岡市、熊本市、鹿児島市を視察しました。

鹿児島市では「かごしま環境未来館」を視察。環境学習拠点としての活動のノウハウなどを調査しました。

この施設は土地建物合計で42億円をかけてつくった“箱モノ”です。巨額の投資に対しては疑問もありますが、どうせつくったなら活用しようということでしょうか、1年間で31万人もの来場者が訪れています(1日1000人!)

このほか、福岡市では「福岡市立病院の地方独立行政法人への移行」、熊本市では「家庭ごみの有料化」「熊本城復元整備計画」を調査しています。

詳しくはブログ記事をご覧ください。創ろう！元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

## (2) やすとも市長の成績は？

左記の「将来の税金（こどもへのツケ）」を減らしていこうというのが、“吉田流”公会計改革のチェックポイントです。

バランスシートは経年比較することにより評価できます。浜松市は「財政のすがた」で、バランスシートを市民1人あたりに置き直して経年比較しています。

やすとも市長が市の経営を受け継いだ平成18年度末（平成19年3月31日）と平成19年度末、さらに平成20年度末の推移を比較すると、「将来の税金（こどもへのツケ）」がどのように変化しているかをチェックできます。

やすとも市長のバランスシート(市民1人あたり/円) (数字は各年度末をあらわします)	
【債務返済の財源】	
149,000	
134,000	
132,000	
【将来の税金】	【負債】
707,000	856,000
717,000	851,000
689,000	821,000
(こどもへのツケ)	

市長就任初年度の19年度末は「将来の税金」が71万7千円となりました。前市長から受け継いだ18年度末に比べ1人あたり1万円増えています。

平成19年度は政令市となった年で、前の市長の時に作った予算に基づいて市政執行を行っていますので、止むを得ない面があります。

むしろ「新市建設計画」の見直しなど、やすとも市長は「ツケをまわさない」ための努力を行いましたが、結果としてツケが増えてしまったというのが実情です。

次にやすとも市長がはじめて予算を組んだ平成20年度決算では、「将来の税金」は68万9千円となり、1人あたり2万8千円も「こどもへのツケ」を減らしています。このあたりはやすとも市長の成果だと思えます。

今年度（平成21年度）は約100億円の税収減の一方、資産（公共財）として残らない「生活保護費」など「扶助費」が増えています。資産全体の伸びは少ないと思いますが、市長の市政運営方針は変わっていないので、おそらく「こどもへのツケ」はさらに減少しているのではないのでしょうか。この結果については今年秋までお待ちください。

来年度も引き続き厳しい財政運営となりそうですが、安易な借金に頼らず、「こどもにツケをまわさない」ように予算をチェックしていきたいと思えます。

公会計改革は、これまでわかりにくかった行政の事業を数値で評価できます（見える化）。また部門ごとに行えば、「部長の成績表」もできます。行政サービスの向上とあわせて、こうした評価指標を活かし市政改善に使っていききたいと思えます。

なお、吉田教授が作成を進めている「成果報告書」は、市の事業が、「誰のために」「どのようなサービス内容が」「どれだけの市民負担で」提供されているかを明らかにするというものです。まだ不勉強ですので、今日のところは提示できませんが、今後、浜松市のいくつかの事業について「成果報告書」を作ってみようと思えます。



## 最近のブログから 震災の日(1/17)

(前略)

今日で阪神淡路大震災から 15 年。マスコミでもさまざまな特集が組まれています。折りしもハイチで大地震が起こり、国際協力の下、各国の支援も報道されていますが、一人でも多くの人命の救出と復興を祈念します。

15 年前は、震度 2 ほどの揺れで目を覚ましたものの、しばらくは布団から出ることができず、7 時の NHK ニュースで、その被害の甚大さを見て驚きました。

2-3 日後(だったと思いますが・・・)、ワゴン車に荷物を満載し、労組の先輩と 2 人で、神戸市内にある現地のスズキ販売会社に、水や食料、日用品などの支援物資を届けに行きましたが、そこで目の当たりにした光景は今も忘れることはできません(その晩、泊まったホテルも壁に亀裂が入っていました)。

その後、2 月半ば、再度神戸を訪れ震災ボランティアに約 1 週間参加しました。当時はまだ 33 歳。バリバリ動けるといことで、避難所のお世話ではなく、力仕事のチームに入り、全国から寄せられる支援物資の仕分け作業を、神戸市中央体育館でおこないました。

当時、一部のマスコミで「新入学の子どもたちの学用品が足りない」との報道があり、驚くべき数のランドセルが中央体育館に集積されたのを忘れられません。また寒い時期でもあり、衣類や毛布などもたくさん届けられました。みんなが「何か自分にできることはないか・・・」を考えてくれたのだと思います。

ちなみに避難所チームの活動を一日だけお手伝いに行きましたが、体育館はもちろん、教室から廊下、階段の踊り場まで 1200 人も避難している小学校を見て、物理的な課題はもとより、メンタル面でのケアがきわめて重要なことを教わりました。

15 年前を「ボランティア元年」と呼びますが、まさにそうした助け合い、共生共助の精神を共有できたのがあの震災でした。

個人だけでなく「ボランティア休暇制度」を新設あるいは制度改善した企業も多々ありました。震災の被害や失ったものを決して忘れてはいけません。尊い犠牲者や被災者のみなさんが、国民や社会に与えてくれたものは大きかったと思います。

15 年後の今、ケガを負い治療が必要な人が目に見えて街中にあふれているわけではありませんが、心に傷を持つ人や高齢化、孤独化は進んでいます。「共生共助」の精神を大切な資本として、社会を再構築していく必要があります。

日ごろの活動はブログをご覧くださいね

創ろう！元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

## 1 月の活動報告

- 04(月) 入野地区自主防災隊出初式  
仕事始め
- 06(水) 連合静岡議員団会議
- 07(木) スズキ賀詞交歓会  
政務調査研究会
- 08(金) 入野地区自治連会議
- 09(土) 浜松市消防出初式  
33 分団表彰式
- 10(日) 成人式
- 13(水) 厚生保健委員会
- 18(月) 外国人学習支援センター開設式  
スズキ労組執行委員研修会
- 19(火) ~ 21(木) 市民クラブ視察  
福岡市・熊本市・鹿児島市
- 23(土) 得本輝人元自動車総連会長を偲ぶ会
- 24(日) 入野チルドレンフェスタ  
さくま新そばまつり  
スズキ労組支部委員研修会
- 25(月) ~ 26(火)  
自治体財政研究会(東京)
- 27(水) 人間ドック
- 29(金) 会派ミーティング

## 2 月の活動予定

- 01(月) 自治体トップフォーラム(東京)
- 02(火) 自治体政策講座(東京)
- 03(水) 入野小学校「入っ子まつり」  
学校評議員会
- 04(木) スズキ労連中央委員会
- 05(金) 市政報告会
- 06(土) 大平台小学校学習発表会  
遠州精工労組研修会  
エステック労組研修会
- 07(日) 西区まつり  
浜松西政経フォーラム
- 08(月) 厚生保健委員会
- 09(火) 厚生保健委員会市内視察
- 10(水) 市政報告会  
入野地区自治連会議
- 11(木) 建国記念の日式典
- 12(金) 全員協議会(議案配布)
- 13(土) 入野中学校区青少年健全育成会  
スズキ労組研修会
- 14(日) 入野地区組発会式  
スズキ労組中央委員会
- 18(木) 市政報告会
- 19(金) 本会議  
入野中学校評議員会
- 20(土) スズキ労組イチゴ狩り  
市政報告会
- 22(月) 厚生保健委員会  
連合浜松意見交換会
- 25(木) 本会議
- 26(金) 本会議

【あとがき】

国政では通常国会が開会しました。「命を守る」という民党政権の新たな施策に期待したいと思います。一方、政治とカネを巡っては、まだまだ不可解な部分が多く、混迷の懸念はぬぐえません。政治に関する嫌気を持たれないように、自浄作用を働かせて欲しいものです。

よく「国民(若者)の政治離れ」と言いますが、私は「政治の国民(若者)離れ」だと思います。市政も同じですが、国民(市民)からかけ離れた次元の話をするのではなく、立ち位置を変えて、真の国民(市民)目線での政治を進めなければいけませんね。

浜松市でも平成 22 年度予算審議が始まります。市民目線でチェックしていきます。(章)